

## i-Rec international conference and workshop in Japan を開催しました (2023/6/1- 4)

テーマ：災害復興、復興、東日本大震災、国際シンポジウム、コミュニティ・レジリエンス  
場 所：東北大学災害科学国際研究所、仙台市、双葉町、浪江町、石巻市、女川町

2024年6月1日～4日、「i-Rec 2023」が、「防災、気候変動対策、復興における伝統と革新の関係について：東北の復興から12年を振り返る」のテーマのもと、被災地視察を含め当研究所で開催されました。このイベントは、i-Rec、東北大学災害科学国際研究所（IRIDeS）、神戸大学都市安全研究センター（RCUSS）、神戸大学減災デザインセンター（CResD）の共催で行われました。i-Rec（復興のための情報と研究のための国際ネットワーク）（<http://www.grif.umontreal.ca/i-Rec.htm>）は、脆弱性、回復力、災害後の復興に関する研究に焦点を当てた国際ネットワークです。

i-Rec は、危機的状況、特に開発途上国における災害時の復興活動に関連する知識を提供するため、メンバー間の情報交換に取り組んでおり、2年ごとに国際会議を開催しています。i-Rec が日本で開催されるのは今回が初めてであり、2011年の東日本大震災から12年が経過し、復旧・復興に向けた「第2の10年」の幕開けとなるタイミングでの開催となりました。マリ・エリザベス准教授（国際研究推進オフィス）、近藤民代神戸大学教授、ゲルスタ・ユリア助教（災害文化アーカイブ研究分野）らが i-Rec 2023 の共同開催者となりました。今回の i-Rec 2023 には、世界から70名以上が対面で参加しました。

6月3日、4日のアカデミックセッションに先立ち、参加者はまず6月1日、2日に被災地へのフィールドワークに参加し、東日本大震災で何が起きたのか、被災地の復興プロセスについて理解を深めました。6月1日は、ゲルスタ助教のコーディネートのもと、福島第一原子力発電所事故被災地視察を行いました。双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館、道の駅浪江、浪江町の請戸小学校跡を訪問し、展示物や原発事故の影響や復興過程について学んだほか、双葉町のまち歩きツアーや、地域活性化を推進する地元団体「エフ・アトラス」の代表からレクチャーを受けました。6月2日は、宮城県石巻市と女川町を訪問しました。石巻では門脇小学校跡を訪れ、リチャード・ハルバースタット施設長からレクチャーを受けるとともに、展示物を見学しました。また、石巻南浜津波記念公園、宮城県津波記念館を訪問し、当研究所客員研究員の千葉直美氏（災害人文社会研究部門）から展示についての説明を受けました。その後女川町に立ち寄り、災害後復興した商店街や女川駅、保存されている交番などを見学しました。その後、雄勝地区では、阿部明成氏から復興の様子について説明を受けました。雄勝地域での堤防や住宅移転地の見学に加え、参加者は雄勝の伝統的なスレート石を使ったオリジナルコースター作りを体験しました。東北地方を訪れるのは初めてという参加者が多く、2日間の現地視察を通じて、幅広い意見交換が活発に行われました。福島県と宮城県でのフィールドワークは、参加者が地域社会で採用されているレジリエンスと革新的な復興アプローチを観察し、学ぶことを可能にし、翌日のアカデミック・プログラムのバックグラウンド・オリエンテーションとして機能しました。

セッションは、6月3日と4日に当研究所にて開催されました。初日には、東日本大震災、津波、原子力災害に焦点を当て、現在進行中の復興について様々な視点から考察するプログラムが行われました。開会の歓迎の挨拶の後、午前中は窪田亜矢教授（東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻）による基調講演が行われました。午後のセッションでは、東日本大震災後の復興について、様々な角度からパネルディスカッションが行われ、最初のパネルディスカッション「3.11後の住まいと暮らしの復興」では、建築家の手島浩之氏、弁護士で仙台弁護士会会員の宇都彰浩氏、東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻の佃遥准教授がプレゼンテーションを行いました。第2部のパネルディスカッションでは、槻橋修教授（神戸大学大学院工学研究科建築学専攻、アーキテクツ・ティーハウス、失われた街プロジェクト）、本江正茂准教授（空間デザイン戦略研究分野／東北大学大学院工学研究科建築学専攻 都市デザインコース）、ゲルスタ・ユリア助教が登壇し、各プレゼンテーションやパネルディスカッションでは、前日までの現地調査から得られた知見をもとに、日本と他の被災国の状況との関連性が議論されました。

最終日の6月4日は4つのセッションが並行して行われ、参加者による学術研究論文の発表（次頁へつづく）

が行われました。54 の学術論文発表に加え、ジェンダーと災害に関する特別セッション「Gender Responsive Resilience and Intersectionality in Policy and Practice (GRRIPP) Roundtable」が開催され、北村美和子特別研究員：助教（国際研究推進オフィス）、千葉直美客員研究員が参加しました。今回のシンポジウムの学術論文のなかで、当研究所/東北大学教員による発表・共著について以下に記します（下線は当研究所所属の教員）。

- *Inclusive Disaster Management Planning: Addressing the Needs of LGBTQ+ Communities in Japan*, Miwako Kitamura, Tohoku University; Anna Matsukawa, University of Hyogo; Anawat Suppasri, Tohoku University; Punam Yadav, University College London
- *Putting Down Roots: Gardening, Farming, and Forestry as Post-Disaster Placemaking* Elizabeth Maly, Tohoku University; Tomoko Matsushita, Urban Research Center; Tamiyo Kondo, Kobe University; Yegane Ghezelloo, National Institute of Technology, Akashi College
- *Oral History as a Tool for Understanding Women's Resiliency in Ishinomaki after the Great East Japan Earthquake*, Naomi Chiba, Tohoku University
- *School memorials as "Lieux de Mémoire" in the cultural and collective memory of the Great East Japan Earthquake*, Julia Gerster, Tohoku University
- *Public awareness of ALPS treated water released from Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant and social issues*, Tetsuya Nakamura, Kyoei University; Steven Lloyd, Kyoei University; Atsushi Maruyama, Chiba University; Satoru Masuda, Tohoku University
- *Design Process of Ruins of the Great East Japan Earthquake: Nakahama Elementary School*, Masashige Motoe, Tohoku University
- *Exploratory Comparative Study on Land Acquisition for Recovery in Italy, the United States, and Japan* Kensuke Otsuyama, The University of Tokyo; Tomoyuki Mashiko, Tokyo Metropolitan University; Haruka Tsukuda, Tohoku University

これらの論文は i-rec のウェブサイトで開催され、選ばれた論文は特別ジャーナル号に掲載される予定です。

日本で初めて開催された i-Rec 2023 は、国際的な災害復興専門家が東日本大震災後の復興について学び、若手研究者の国際的なコミュニティと知識や情報を交換する、またとない機会となりました。公共政策、都市計画、コミュニティ計画、災害の社会的影響など、多様なトピックを取り上げた i-Rec 2023 は、当研究所と災害研究者、コミュニティ擁護者、その他のステークホルダーとの国際的なつながりを強化し、それぞれの経験から得られた知識や貴重な教訓を共有する場となりました。i-Rec 2023 は、今後の協力関係を促進するだけでなく、効果的な復興手法に関する世界的な理解に大きく貢献しました。

文責・写真: 北村美和子、マリ エリザベス（国際連携推進オフィス）  
 ゲルスタ ユリア（災害文化アーカイブ研究分野）  
 （次頁へつづく）



福島伝承施設



請戸小学校



福島県双葉地域の  
ワーキングツアー





双葉地区の神社の前で撮影された集合写真



福島県双葉地域の  
ワーキングツアー



宮城メモリアルミュージアム



雄勝地区のガイドツアー



窪田教授による基調講演



参加者との議論の様子



パネル1のディスカッション



パネル2のディスカッション



ジェンダーと災害の  
特別セッション



集合写真（災害科学国際研究所前）